

電報一〇五三

六月四日 日 庚申 元二二二〇 協議局

臺帳記入

西中島 三三三

甲 乙 1465

肥 甲

第九九一號	大正二年	五月十七日受領	淨書 校合
第一〇二號	大正二年	五月十五日立案	

監督局長

事務主任

技術主任

副總裁

總裁

內閣總理大臣

內閣書記官長

內務大臣

次官

土木局長

技術課長

道路課長

回議用紙

鐵道院

龍野電氣鐵道軌道ヲ輕便鐵道ニ指定ノ件

龍野電氣鐵道株式會社線路中最初軌道敷設、際擴張ニ依ル部令、特許命令書、規定ニ依リ、總テ公有ニ歸シタル爲今般新管官廳ニ於テ右部分、公用廢止相成タルヲ以テ、別紙公用廢止ニ因タル書類參看、本件ハ全部新設軌道敷トナリ、其ノ線路ノ狀況及運輸、目的等ヨリ、觀テ輕便鐵道法附則ニ依リ、將來同法ニ依ルハキモ、ト指定シ可然ト認メ候條尤案ノ通指定相成可然哉

案ノ一

番 第

兵庫縣經由) 指定命令書

主務廻

鐵道院

龍野電氣鐵道株式會社
明治三十九年八月二十八日內務省兵甲第一
三三號ヲ以テ軌道敷設ヲ特許スル事
業ヲ許可シタル本線兵庫縣揖保郡網干
町ノ内新在家村字外新田同縣同郡神
岡村ノ内東紫崎村字舟本間、支線同縣
同郡石海村ノ内糸井村字柿ヶ坪同縣同
郡旭陽村ノ内和久村字閑ノ口間及同縣同
郡小宅村ノ内富永村字溝間同縣同郡
同村ノ内同村字常心防間、輕便鐵道法附
則ニ依リ、自今輕便鐵道法ニ依ルルキモノト
指定ス

大正二年五月十八日

內閣總理大臣
內務大臣

案ノ二
命令書
(別紙ノ通)

番
案ノ三
年月日

總裁
陸軍大臣宛

通牒
明治三十九年八月二十八日軌道敷設特許

七ラレタル龍野電氣鐵道株式會社軌
 道本線兵庫縣揖保郡網干町内新
 在家村字外新田同郡同郡神岡村内
 東前崎村字舟本間支線同郡同郡石
 海村内糸井村字神ヶ坪同郡同郡旭陽
 村内和久村字関ノ足同郡同郡小宅村
 内富永村字溝間同郡同郡同村内同
 村字常心防間ハ大正一年五月二十日輕便
 鐵道ニ指定セラレタリ

番 雜 案ノ四
 年五月十八日

鐵道院監理新局長
 内務省土木局長

兵庫縣知事宛

貴管下龍野電氣鐵道株式會社所属
 線路ニ對シ別紙ノ道將來輕便鐵道法ニ
 依ルル旨指命令相成候條交付上其ノ
 年月日報告相成度

番 雜 案ノ五
 年月日

鐵道院監理新局長
 六月五日

逓信省電氣局長宛

通牒

本年八月二十日監第九九號ヲ以テ龍野
電氣鐵道株式會社軌道本線兵庫
縣揖保郡網干町、内新在家村字外新
田、内同郡同郡神岡村、内東備崎村字舟
本ニ至ル八哩三十一鎖間、支線同郡同郡石
海村、内糸井村字柳ヶ坪、内同郡同郡旭
陽村、内和久村字関ノ口ニ至ル二十五鎖間
及同郡同郡小宅村、内富永村字溝間
ヨリ同郡同郡同村、内同村字常心防ニ
至ル十二鎖間、對テ電氣ヲ動力トナル輕便
鐵道ニ指定相成候

案ノ六
番 縣 (兵部事務)

年 月 日

六月五日

龍野電氣鐵道株式會社社長宛
鐵道院監督部長

通牒

明治三十九年八月二十八日内務省兵甲第
一三三號ヲ以テ軌道敷設ヲ特許セラレ現
在營業中、軌道ニ對シ別紙ノ通自今輕
便鐵道ニ依ルニテ指定相成候ニ付テハ
大正元年五月三日軌道抵當權設定登
録申請ニ添附セル財團目錄中鐵道抵當
張第十一條第一項後段ニ依リ追加スルニ

モノニ付テハ此ノ際財團目錄変更方届
出可有之尚輕便鐵道法ニ據ル營業開始ノ即
即日其音電報告有之度爲念及通牒候也

官報掲載条

輕便鐵道指定

明治三十九年八月二十八日

内務省兵甲第一三三號ヲ以テ軌道敷設
ヲ特許シ現在營業中ノ龍野電氣鐵道
株式會社線路本線兵庫縣揖保郡網干
町ノ内新在家村字外新田ヨリ同郡同郡神
岡村ノ内東前崎村字舟本ニ至ルハ哩三十一
間支線同郡同郡石海村ノ内糸井村字柿
ヶ坪ヨリ同郡同郡旭陽村ノ内和久村字関
ノ口ニ至ルニ十五鎖間及同郡同郡小宅村ノ内
富永村字溝間ヨリ同郡同郡同村ノ内同
村字常心防ニ至ルニ十二鎖間ハ大正二年五月
二十日輕便鐵道法ニ依ルハキ七十ノ卜指定
セリ

(鐵道院)

命令書

龍野電気鉄道株式会社

大正 二年五月二十八日 監 第

九九一號 指定命令書ヲ下付シタル輕便

鐵道ニ付テハ左ノ條件ヲ遵守スヘシ

大正 二年五月二十八日

内閣總理大臣

第一條 工事ハ輕便鐵道法第三條ニ依ル工事
施行ノ認可ニ指定シタル期限内ニ著手シテ竣

功

天災事變其ノ他正當ノ理由ナルトキハ前項

期間ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第一條 鐵道ノ動力ニ他ヨリ電力ノ供給ヲ受

ケムトスルトキハ供給契約書ノ謄本ヲ添ヘ

供給者ト連署ハ上認可ヲ受クヘシ

第二條 技術ニ関スル事項ヲ擔任シタル為

主任技術者ヲ置キ届出ツヘシ之ヲ變更シタ

ルトキ亦同シ

主任技術者ヲ不適任ト認ムルトキハ其ノ解

任ヲ命スルコトプルヘシ

第四條 工事ノ一部又ハ全部竣功シ運輸ヲ開

始セシトスルトキハ許可ヲ受クヘシ

第三條 旅客及貨物ノ運賃（別引運賃ノ令）

其ノ他運輸ノ関スル料金ハ認可ヲ受クヘシ

之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

政府ハ公益上必要ト認めルトキハ運賃及料

金ノ變更ヲ命スルコトヲ得ルヘシ

第四條 旅客及混合列車ノ發着時間及敷ヲ定

ム認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ

亦同シ

天災事變其ノ他已ムコト得サル事由ニ因リ一

時變更ヲ為シタルトキハ直ニ之ヲ再出スヘシ

第五條 政府ハ他ノ鐵道又ハ軌道トノ連絡運

輸又ハ直通運輸ヲ命スルコトヲ得ルヘシ

第六條 營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ

止セムトスルトキハ許可ヲ受クヘシ

第七條 他ノ業務ヲ營シ又ハ社債ヲ募集シ若

シ鐵道及之ニ屬スル物件ヲ擔保トシテ負債

ヲ爲スルトハ認可ヲ受クヘシ

第八條 鐵道ノ貸借又ハ營業ノ管理委託ヲ為

サムトスルトキハ貸借又ハ管理委託ノ関ス

ル契約書ノ謄本ヲ添へ雙方連署ノ上認可ヲ

受クヘシ

第九條 他ノ會社ト合併セムトスルトキハ

合併ノ事由及方法ヲ記載シ雙方連署ノ上認

可ヲ受クヘシ

第十條 鐵道ヲ讓渡セムトスルトキハ讓渡

人ト連署ノ上許可ヲ受クヘシ

原本不明瞭

第十一條 政府ハ監査員ヲ派遣シ工事ヲ監視

セシノ又鐵道ノ設備並運輸保線ノ方法ヲ

監査セシムルコトアル一シ

監査員ニ於テ說明ヲ求メ又ハ關係書類圖面

ノ檢閲ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得

工事カ工事方法書又ハ法令若ハ法令ニ基キテ

發スル命令ニ違ヒタルトキハ其ノ改築人ハ

工事ノ停止ヲ命スルコトアル一シ

鐵道ノ設備又ハ運輸保線ノ方法カ不適當ナ

リト認ルルトトキハ何時ニテモ必要ナル施設

ヲ命シ若危險ナリト認ルルトキハ運輸又

使用ヲ停止スルコトアル一シ

第十二條 政府ノ派遣シタル官吏ニ於テ鐵道

ニ關スル會計及財産ノ檢査ヲ求メタルトキ

之ヲ拒ムコトヲ得

第十三條 陸海軍官憲ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供

スルコトヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ

得

前項ノ場合ニ於テ明治三十七年初令第十

二號鐵道軍事供用令及同年陸軍省令第三號

鐵道軍事輸送規程ニ準スルモノトス但シ其

ノ料金ハ客車一輛ニ付其ノ定員數ニ當該客

車等級ノ運賃ヲ乘シタルモノノ二分ノ一貨

車ハ貨切料金ノ二分ノ一トシ二十哩以下

此線ト連帶輸送ノ場合ハ輸送ニ在リテハ二十哩分

全輸送距離ニ十哩以下ノ輸送ニ在リテハ二十哩分

ノ料金を給ス

原本不明瞭

第十四條

鐵道線路一部免許失効シ又ハ取消サレ
タル場合ニ於テ公益上必要ト認めテ他ノ全部又
一部ノ免許ヲ取消スコトアルハ

第十五條

左ノ場合ニ於テハ免許其ノ效力
ヲ失フ

- 一 免許状持人ノ期限内ニテ
二 免許状持人ノ期限内ニテ
三 免許状持人ノ期限内ニテ
四 免許状持人ノ期限内ニテ
五 免許状持人ノ期限内ニテ

第十六條

何レノ場合ニ於テハ鐵道ニ
前項ノ場合ニ於テハ鐵道
ノ長短ノ一ノ年ニ於テハ
買取額ノ一定ノ割合ニ於
テハ對シテ公益上必要ト認
めテ全部又一部ノ免許ヲ
取消スコトアルハ
前項ノ場合ニ於テハ營業
費ノ一定ノ割合ニ於テハ
平均割合ノ一定ノ割合ニ
於テハ對シテ公益上必要ト
認めテ全部又一部ノ免許ヲ
取消スコトアルハ

原本不明瞭

度末ノ開業線是該費合計ヲ以テ同期間ニ於
 ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ
 買收ノ日ニ於テ運輸開始後未ク六營業年度
 ヲ経過セザル場合又ハ第三項ノ金額ヲ建設
 費ニ達セザル場合ニ於テハ政府ハ其ノ建設
 費以内ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ第三項
 ノ金額ニ代フ
 鐵道及附屬物件ノ狀態不完全ナルトキハ其
 補修ニ要スル費額ハ買收價額ヨリ之ヲ控
 除ス
 前項補修ニ要スル費額ニ片協議調ハサレト
 十ニ政府ノ選定シタル額走人ノ意見ヲ徴シ
 政府ノ選定スル

買收代價ハ公債證書ヲ以テ交付スルコトヲ
 一ニ此ノ場合ニ於テハ券面金額ニ依リ四
 分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付シ五十圓未
 滿ノ端數ニ之ヲ五十圓トス
 第十七條 政府ハ公債上必要ト認ムルトキハ
 工事方法ノ變更ヲ命ジ又ハ本命令書ヲ變
 更スルコトヲ得ル
 第十八條 將來定ムル法律ノ結果トシテ
 本命令書ノ條項ヲ變更ヲ求ムコトアルモ之
 ヲ拒ムコトヲ得ル

Vertical text on the left margin, likely bleed-through from the reverse side of the page.

参考

命令書

明治三十九年八月二十八日
内務省令第百三十三號

第一條 今般龍野電氣鐵道株式會社發起人
堀豐彦外四拾名ニ對シ特許シタル軌道ノ線
路ハ左ノ如シ

幹線

- 一 兵庫縣揖保郡網干町ノ内新在家村字外新
- 岡千二百九十二番地ヨリ同郡今村ノ内今村字三
- 石千四百六番地ニ至ル新設軌道敷
- 一 前項終点ヨリ同郡旭陽村ノ内和久村字上前
- 田百三十番地ノ一ニ至ル假定縣道

一前項終点ヨリ全郡石海村、内糸井村字柿ヶ
 坪二百九十番地ニ至ル新設軌道敷
 一前項終点ヨリ全郡全村、内全村字前日百
 九十一番地ノ一ニ至ル假定縣道
 一前項終点ヨリ全郡全村、内正岡村字小畑百
 二十七番地ノ二ニ至ル新設軌道敷
 一前項終点ヨリ全郡班鳩村、内鷓村字山ノ前
 百四十九番地ニ至ル假定縣道
 一前項終点ヨリ全郡全村、内全村字城山千十番
 地ノ五ニ至ル新設軌道敷
 一前項終点ヨリ全郡譽田村、内福田村字子河
 原三百三十八番地ノ三ニ至ル假定縣道

一前項終点ヨリ全郡全村、内廣山村字宮ノ前
 四百八十六番地ノ一ニ至ル新設軌道敷
 一前項終点ヨリ全郡小尾村、内富永村字溝
 間二百七番地ニ至ル假定縣道
 一前項終点ヨリ全郡全村、内島田村字木ノ
 角百十八番地ニ至ル新設軌道敷
 一前項終点ヨリ全郡神岡村、内東嶺崎村字
 舟本三百三十一番地ニ至ル里道
 支線
 一揖保郡石海村、内糸井村字柿ヶ坪二百
 九十番地幹線分岐ヨリ全郡旭陽村、内和
 久村字関、口四百八十一番地ニ至ル新設軌道敷

一 揖保郡小宅村、内富永村、字溝間百八十一番
合併ノ十幹線分岐ヨリ今郡今村、内今村百八十三番
字席心防ニ百九十八番地ニ至ル新設軌道敷

三十三面
七三八五

竜野電気鉄道(軌道)

軽便鉄道ニ変更指定申請ノ件

一、電気ニ関シテハ大体ニ於テ支障ナシト認ム

八月廿三日



(請田岡)

鐵道院

16

昭和二十一年八月

鐵道院

東京區大塚町一丁目

東京區大塚町一丁目
東京區大塚町一丁目



八月



一車輪の周長は六尺五寸

八月廿三日



✓ 士木
 ✓ 車物
 ✓ 電光

一、車物... (faint vertical text)

鐵道院

龍野電氣鐵道(軌道)

輕便鐵道ニ変更指定申請ノ件

20/8
 (Seal)

右件士木ニ関シテ大伴支障十九ハノ認メラレテ
 既ニ於此設備又ニ線路ノ狀態ヲ官地ニ就キ調
 査スルニ要ス

備考

現在線路ノ大要左ノ如シ

- 一、專用支 約四哩三分九釐
- 一、道路支 約四哩二分四釐
- 一、曲線最小時徑一釐
- 一、軌間四呎八吋半
- 一、最急勾配 二十五分の一
- 一、軌条一碼六十封支(工形)

兵部五八九號一

既設軌道ヲ輕便鐵道ニ變更指定申請
ニ付副申

軌道條例ニ依リ特許セラレタル軌道ヲ輕便鐵道
ニ變更御指定ノ義竜野電氣鐵道株式會社
ヨリ別紙ノ通り出願候處本軌道ハ輕便鐵道法
廣施前特許ヲ受ケタルモノニ有之其後今法ニ依リ
御免許相成^居姫路^間及^間備前^間須賀澤^間
輕便鐵道ト相連絡シ又一面ニ於テハ官設鐵道ニモ
連絡致居^テ付テハ將來今法ニ依リ經營セシムルニ於テ
ハ運輸交通上一屬利便ヲ増進シ得ルコト、存^テ條願
意御採用相成^テ候様致度願書進達此段及副申
矣也

鐵道院
號
1949
45/6
24

明治四十五年六月二十日

明治四十五年六月二十日

明治四十五年六月二十日

兵庫縣知事服部一三



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿
内務大臣原敬殿

軌道條例ニ據ル軌道ヲ輕便鐵道
ニ變更御指定儀ニ付申請

龍野電氣鐵道株式會社

軌道條例據軌道ヲ輕便鐵道變更
御指定ノ儀ニ付申請

近時世運ノ進步ニ伴ヒ旅客ノ交通物貨ノ集散漸次頻繁トナリ隨テ交通運輸ノ機關ハ假令山間僻阪ト雖比日進月歩ノ趨勢ヲ以テ益々發展ヲ促シツアルハ今更歟々ヲ要セサル處ニ御坐候
抑々當會社ノ軌道ハ去ル明治三十九年八月軌道條例基キ特許ヲ得同四十二年一月ヨリ營業開始仕候處恰モ同四十二年四月法律第五十七號ヲ以テ輕便鐵道法發布相成其ノ御施行以來

龍野電氣鐵道株式會社

此種ノ經營ハ殆ント總テ同法ニ據リ施設セラレ即チ弊地方ニ於テ既ニ敷設ノ免許ヲ得タル山崎姫路并ニ姫美ノ各輕便鐵道アリテ將來此等各鐵道ハ必ス當軌道ト連絡スルキハ地ノ利ニ於テ高ニ然ルハキ儀ニシテ今ヤ現ニ山崎輕便鐵道ノ如キハ當會社軌道ノ終点タル兵庫縣揖保郡神岡村ノ内東皆崎ニ於テ連絡輸送ノ施設計畫ヨリ着々進行中ニ有之候ノミナラズ猶當軌道ハ官線網干驛ト連絡致居候處近來同驛ノ旅客貨物共ニ著シク激増ヲ來ニ為ノニ現下驛舎ノ大々

的擴張中、シテ逐日發展ノ域、向ヒツ、
 有之候猶且ツ古来著名ナル鶴聖徳
 太子寺ハ當軌道沿線ノ中央ニ位ニ同古
 刹ノ式日若クハ縁日ハ當會社唯一ノ紋日
 有之毎歲教回遠近ノ茲、賽スルヲ教
 十萬ニ及ヒ其他不時ノ團體旅客、アル場
 合ニ於テハ即チ一時、多数ノ旅客ヲ輸送
 スキ義務ヲ有スルヲ尤ニ軌道條例ニ依リテハ
 敷設車輛ノ連結ヲ為ス能ハス送テ輸送
 力ニ乏シク自然旅客、多数ハ送テスルノ上ハ
 得サル有様、御坐候
 當會社ハ營業開始以來貨物、輸送ヲ

— 龍野電氣鐵道株式會社 —

兼營致居候處当地方重要物産タル素
 麩ハ全國有數、モノニシテ本郡ノ、製産年
 額凡四百萬貫、及ヒ又名尤龍野醬油ノ
 特産地、有之其製造石數年額九萬石、多
 キナリ此等素麩醬油ハ勿論米麦薪炭ノ
 輸送及農産品ノ原料タル小麦大豆、
 肥料等、輸入物皆ハ主トシテ當軌道、
 按リ輸送スルノ能ハスル事由、
 送スルノ義務ヲ有スルヲ能ハスルハ故、
 按リ敷設車輛ノ連結ヲ為ス能ハスルカ故、
 旅客輸送ト均シク積載スキ貨物、之令一
 夕モ運送ヲ不能ハス殊ニ貨物ハ一時、
 輻輳スル時期多ク時々停滞スルヲ免
 レス地方

ノ要求、背馳ニ延テ産業、發達ヲ阻止スル
ノ憾有之候由來當會社、軌道ハ市街
軌道ト其趣ヲ異ニシ僻陋ノ地、敷設セルヲ
シテ殊ニ當該線路敷地ハ悉ク當會社、於テ新
設擴築ヲ爲シ在來ノ國縣道ハ勿論郡道
上ニ敷設セル部分ハ更ニ無之單ニ在來ノ道路
沿ヒタルニ過キス且ツ諸般、設備構造等ハ
輕便鐵道法ニ準據スルモ甚ニ抵觸スル廉
無之寧口地方ノ状況ヨリスルモ同法ニ依ルヲ至
當ナラニ乎ト存候而シテ近キ將來ニ於テ上述、如ク
山崎輕便鐵道等ト連絡ノ曉、於テハ現在、
設備ニシテハ必然双方連絡輸送上一大障害ヲ

龍野電氣鐵道株式會社

釀ニ到底圓滑ナル運輸ヲ遂クルコト能ハザル
バト存候之レヲ要スル、現在、設備經營ニシテハ
全ク交通機關ノ本能ヲ發揮シ得サルト共、
其ノ責務ヲ果スト能ハサルハ頗ル遺憾ノ極、
有之候仍テ將來可及約健全ナル運輸方
法ヲ講セント欲セハ勢ヒ列車組織ト爲之則
チ輕便鐵道ニ變更仕候ハ、唐ニ地方一般
ニ要求ヲ充スルニナラス官線鐵道ニ對シテモ亦
自然ノ影響ヲ及ホスコトハ申迫モ無之候又
現在、軌道條例ノ下ニアリテハ官線列車ト
相互ニ乘換房ヲ一時ニ收容致兼非常ノ
難者ヲ極メ候場合歎カラス候間唐上述

四圍ノ事情御洞察ノ上特別ノ御詮議
ヲ以テ至急高軌道ヲ輕便鐵道ニ變更
御指定相仰申渡只管切望ノ至リニ堪
ヘス候 茲ニ衷情ヲ杖漉ニ上段申請仕候
也

明治四十五年六月五日

龍野電氣
鐵道株式
會社之印

兵庫縣揖保郡加嶋村内嶋村

龍野電氣鐵道株式會社
社長 堀 豊彦

龍野電氣鐵道株式會社

内閣總理大臣公爵西園寺公望殿

内務大臣 原 敬毅

經由 庫縣 第 47 號
大正 2 年 4 月 12 日

1395

軌道條例ニ據ル軌道ヲ輕便鐵道ニ變更御指定儀
ニ付用ヒ申請

明治四拾五年六月五日付ヲ以テ當會社、軌道ヲ輕便鐵道
ニ變更御指定相仰度旨申請仕候處未ダ何等ノ恩命
ニ接シ不申試ニ遺憾ニ存候仍チ業ニ御指定願書中ニモ
續々陳述仕置候通リ元來當會社ハ軌道條例ニ基キ特
許ヲ得テ營業罷在候得共地方、狀況運輸趨勢ヲ觀ルニ
寧々普通鐵道ニ據ル地方、要求ヲ充クシ且、會社享ク
ル處、利益モ亦尠少ナラズト存候由來、自今、社軌道、如キハ
市街其他、軌道ト異リ、僻陋地ニ敷設セルモノ有リ殊、其
線路敷地總ニ、自今、社於テ新設擴張スルモノニ、自今、社

龍野電氣鐵道株式會社

路ニ沿ヒタルニ過キス猶當會社、終矣、此、神岡村、山崎村、
ヨリ、安樂郡、山崎町、ニ達スル、拾壹哩、余、山崎、輕便鐵道、ハ爾來、着
々、其、歩、武、ヲ、進、メ、近、々、線、路、敷、設、ノ、運、ビ、到、ル、ベ、ト、存、候、就、テ
ハ、當、會、社、ニ、於、テ、ハ、之、ガ、連、絡、運、送、等、諸、般、ノ、計、画、上、具、非、
共、至、急、變、更、御、指、定、得、申、度、存、候、間、何、卒、特、別、御、設、
議、ヲ、以、テ、願、意、御、採、用、上、至、急、御、指、定、相、仰、度、茲、ニ、再、ヒ
申請仕候也

大正貳年叁月拾貳日

龍野電氣鐵道株式會社

社長 堀 豊彦

内閣總理大臣伯爵 山本權兵衛殿
内務大臣 原 敬 殿

道政ノ公平ノ際上ニ

昇之

注意

以下参考書類ハ本件決裁ノ上ハ内務省土木局
ニ返戻ノコト

鐵道院

-7

二、四、五、電、汽、の、改、修、を、官、立、に、移、す、に、関、し、て、

一、下、次、の、各、書、類、ハ、本、十、六、日、付、ノ、内、閣、議、決、ニ、由、リ、

輕便鐵道

認可ノ要スルモノ

- 一、鐵道係員懲戒規程
- 一、鐵道係員保安規程
- 一、旅客貨物ノ運賃 (割引運賃ヲ含ム) 運賃規程
- 一、手小荷物ノ運賃 命令書
- 一、其他運輸ニ關スル料金 全部
- 一、旅客乗降定額ノ増減ノ料金、特設物使用料金、
- 一、若物集配、積卸料金、運送取扱追徴料金
- 一、列車運轉時刻 届出ヲ要スルモノ

一、鐵道係員、職制
主任技術者

鐵道
院
學業規程
局長

(東京府印刷)

此電氣鐵道之規定係
右指定ノ際ハ輕便鐵道ニ
準テ規定スルニ依リ
殊ニ極メテ簡便ニ
爲スルニ要ス

電氣鐵道

或



新外... (faded text)
 ... (faded text)
 ... (faded text)
 ... (faded text)
 ... (faded text)
 ... (faded text)
 ... (faded text)